自主学習のすすめ＜小学校　国語科（例）＞

１　第３学年　つづけてみよう　「日記を書こう」「日記を読み返そう」　（※どの学年でも活動可）

２　「日記」について

学習指導要領第１学年及び第２学年Ｂ書くこと（２）言語活動例のイとして「日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動」として、日記が取り上げられている。また、「日記とは、日々の出来事や感想などを記録したものである。毎日書く場合のほか、様々な場合がある。」と説明されている。

３　ねらい

　・生活の中での五感（色、音、味、におい、感触等）を働かせ、気付いたことを言葉にしてみることで、見逃しがちな小さな変化に関心を高め、感性を豊かにする。

　・毎日楽しんで書くことで、書くことへの抵抗感や苦手意識を軽減する。

　・日記を読み返すことで、自分が興味をもっていることやよく考えること等、自分を客観的に分析し、自分の文章の内容や表現のよいところを見付ける。

書くことの例

・その日あった心に残った出来事

・面白かった本や楽しかった学習

・飼っている動物の動きの様子

・育てている植物の変化の様子

・家の前の木や花の様子

・今日の給食の味、におい、色

・図書室から見える風景　等



４　＜日記を書こう＞

　事前準備

1. 何のために書くかをはっきりさせる（目的意識）。
2. 見せる相手を設定する

（相手意識：先生、保護者、友達、○年後の自分　等）。

　　例：“先生”に“家での出来事” を伝えたい

※実態に応じ、期間を決めて実施してもよい。

※書くことが難しいときは、好きな言葉や気になった写真等を貼ってもよい。

※表紙を飾って楽しく続けられるようにする。

雑誌の写真を切り取ったり、付箋やメモ用紙に記録したりしたことをノートに貼り付けて、言葉の財産を増やしていくのも楽しいよ。

ノートづくりの例

R５．□月×日（〇）

ハムスターの赤ちゃんが生まれました。そっとなでてみました。ふわふわしていてあったかかったです。

R５．○月□日（△）

**↗きんにく**

**→やきにく**

**↘にんにく**

**パワー**

**→でっかい**

**→強い**

一つの言葉からいろいろな言葉がうかんでくるなあ。たくさんの言葉を集めてみよう。

R５．□月×日（〇）

　ひさしぶりにおばあちゃんの家に行った。おばあちゃんの家のにおいが好き。おばあちゃんの料理が好き。でも、おばあちゃんの笑顔が一番好き。



**言葉の**

**ほう帳**

**あったかハートノート**

R５．△月〇日（×）

ちび

　ぼくの家のちびはみけねこだ。

　ちびはごはんがほしいときに、いつもぼくの足にすり寄ってきて、せなかをこすりつけて、そしてまんまるな目でじっと見つめてくる。「はやくごはんちょうだいね」と言うように。

　ノートの題名を工夫してみよう